

事務事業評価表

○基礎情報

課名		下水道河川管理課	作成責任者
施策目標	54	下水道・河川施設の信頼性を確保する	嶋津 宗嘉

常勤職員		常勤職員以外			総従事者
管理職	左記以外	再任用短時間	会計年度任用職員	派遣職員	総人工
2 人	14 人	1 人	2 人	0 人	16.88 人

時間外勤務時間	
総時間	一人あたり月平均
3,641 時間	21.7 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H30年度	R元年度	R2年度
線的施設(管路)の長寿命化対策率	12.00%	34.85%	13.09%	23.29%	37.05%
点的施設(ポンプ場等)の対策実施率	3.85%	30.77%	19.23%	23.08%	46.15%
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	管路の耐震化と計画的・効率的な改築
2	河川・水路の改修と計画的な維持・管理
3	0
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった **A** 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった **B** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める **D** 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない **E** 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) **実績なし** 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和2年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)													Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	R元予算(円) R元決算(円)	R2予算(円) R2決算(円)	何・誰に対して (対象)	どう働きかけた結果 (手段・方法)	どうなったか(生まれた成果・効果)	事務事業の指標	R2目標値	R2実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1	駒寄川整備事業	2	0.10	一般	0 ----- 0	0 ----- 0	流下能力の確保及び向上を目指した駒寄川の暫定整備を実施するため、用地買収に必要な用地測量の準備を進めた。		事業の進捗状況(河川の改修延長)	河床改良 L=50.0m	用地測量		C	変動なし		
2	排水路新設事業(排水不良地区の解消)	2	0.55	一般	4,091,000 ----- 3,206,768	11,320,000 ----- 9,908,678	局所的に浸水履歴がある排水不良地区に対し、排水路の新設、改良を実施し、浸水の軽減に寄与することができた。		事業の進捗状況(工事の施工延長)	工事延長 L=78m	工事延長 L=74m		S	変動なし		
3	不明水に係る調査及び対策事業	1	0.63	特別	108,196,000 ----- 104,842,100	114,312,000 ----- 109,849,700	公共下水道汚水管渠への不明水浸入箇所と原因を特定するための調査及び調査によって特定した不明水浸入箇所の更生や布設替等の対策工事を実施し、不明水量の縮減を図ることができた。		事業の進捗状況	【不明水調査】 L=8000.0m N= 6.0箇所 【管渠修繕】 L= 500.0m	【不明水調査】 L=7670.0m N= 4.0箇所 【管渠修繕】 L=768.0m		S	変動なし		

4	管路施設等の維持更新に係る事務	1	0.69	特別	100,399,000	40,363,000	下水道施設の機能を適正に維持するため、老朽化した管きょやマンホール等、下水道施設の改築・更新を実施し、持続的な下水道サービスの確保に寄与することができた。	事業の進捗状況	布設替工事 L=370m 鉄蓋交換及び柵設置 N=45箇所	布設替工事 L=0m(R3年度へ繰越) 鉄蓋交換及び柵設置 N=43箇所	B	変動なし		
					92,241,970	31,306,226								
5	下水道施設ストックマネジメント事業(長寿命化事業)	2	1.05	特別繰越	121,214,000	154,063,000	「茅ヶ崎市公共下水道施設維持管理計画」に基づき、管きょやポンプ設備等、下水道施設の計画的な改築更新を行い、計画的かつ効率的な下水道施設の維持更新を実施することができた。	事業の進捗状況	二期工事390m、三期点検14,150m	二期工事548m、三期点検18,390m	S	変動なし		
					115,970,784	105,131,290								
6	柳島ポンプ場改築事業	1	0.30	繰越	349,543,000	48,334,000	使用開始から40年以上経過した柳島ポンプ場において、平成28年度から令和元年度までの4か年計画で1系ポンプ棟に設置された3基あるポンプ設備の更新を実施し、ポンプ場の持続的な機能確保に寄与することができた。	事業の進捗状況	完了	完了	S	減少		
					285,432,740	46,289,100								
合計					R2予算(円)	368,392,000								
					R2決算(円)	302,484,994								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)														
<p>下水道河川管理課の平成30年度の事務事業数は17事業あり、うち政策的事業は6事業である。政策的事業の評価結果は、「S」4事業、B「1」事業、C「1」事業となっており、2事業を除き成果を出すことができた。なお、「C」事業については、令和3年度の事業展開に向けた取り組みができ、今後成果が見込めるものとなっている。</p> <p>施策目標としている2年度の線的施設(管路)の長寿命化対策率は37.05%、点的施設(ポンプ場等)の対策実施率は46.15%であり、施設の長寿命化等について予定通り進捗している。</p> <p>職員の時間外勤務に着目すると、総時間で3,641時間、一人当たり月平均21.7時間であり、前年度と比較して総時間は669時間、一人当たりの月平均2.2時間の削減となった。</p> <p>令和3年度は、引き続き担当でのミーティングや朝礼後打ち合わせを実施し、職員同士の業務の状況を共有し、事務量の平準化や問題点の迅速な把握に努めつつ、併せて下水道施設調査資料のデータベース化及び施設台帳整備を推進し、施設の調査点検履歴等を一元化し整理すること等により、更なる時間外の縮減を目指す。</p>														

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は－)	事務改善の内容
	－	－

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は－)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
	－	各事業とも公共下水道の維持管理に不可欠であることから休・廃止を検討できるものではない。